

奥会津だより



今も暮らしに生きる道具をシリーズで紹介しします。-No.14 ムシロー-

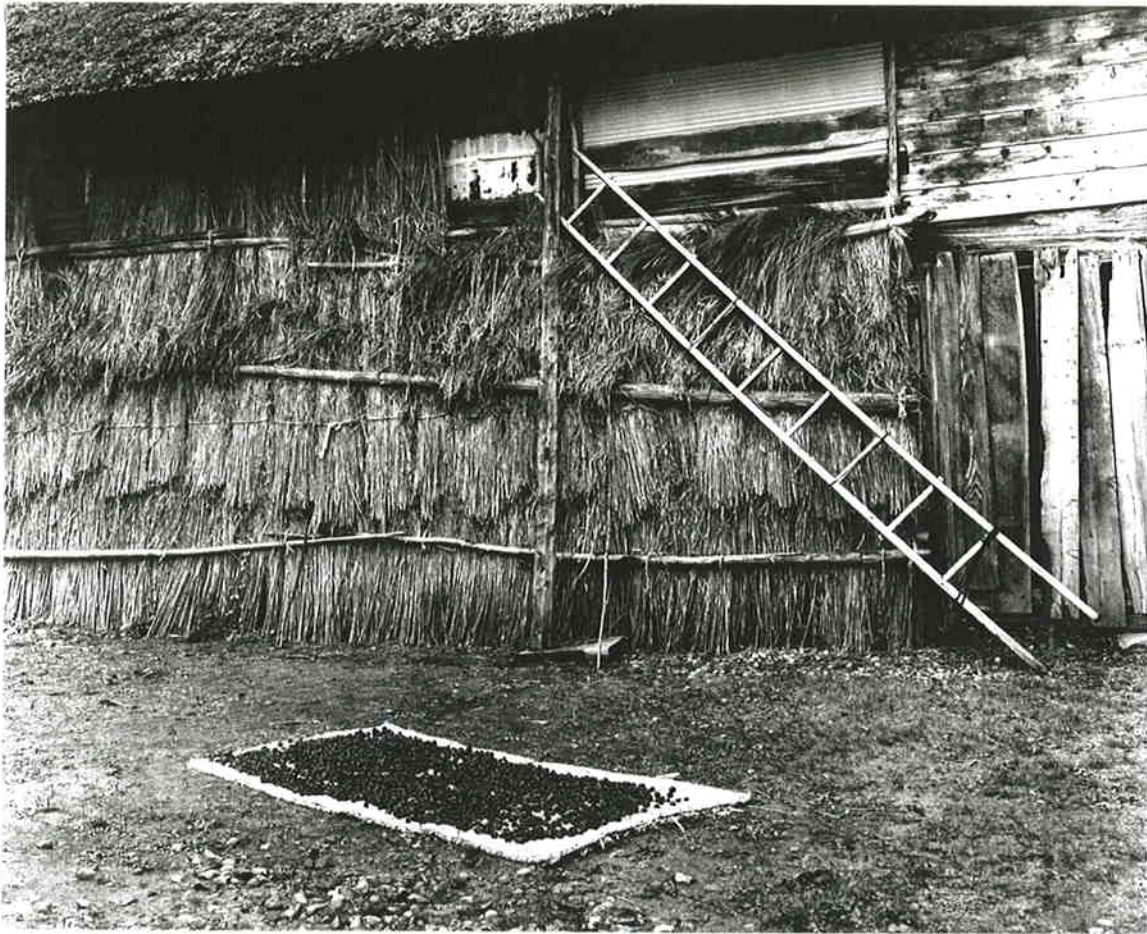
秋仕舞い

畑の収穫物も一段落して、春からの農作業に使っていた垣柴や農具を片付けるのを「秋仕舞い」や「農仕舞い」という。畑の垣柴なども一ヶ所にまとめて、雪に備えながら来春しておく。写真の筵（ムシロー）は、春から実に多くの収穫物を載せて乾燥させてきたことか。大根干し、ぜんまい、こごみ、豆類、雑穀・・・。今、秋の太陽を浴びながら一年分の埃を叩き落とされ、静かに納屋に眠ろうとしている。



なつかしい風景

◆農の風景



写真・文 竹島善一
昭和40年代後半より現在まで、奥会津各地の暮らしを写真で記録している。(東京在住)

昭和57年10月 金山町太郎布

私は納屋に惹かれる。仕事のための建物は、そこで生きる人の働きぶりを語っている。

農業は生産の場が屋外に展開する。自分が知らなかった職業に携わる人々の仕事ぶりを見ると、好奇心が満たされて感心することしきりである。その一日は、納屋から農機具、肥料を持ち出すことから始まるのだろう。昨今では耕運機をはじめとするさまざまなエンジン付き農機具のガレージにもなっている。

太郎布は沼沢湖からさらに高地にある。かつては住居であつたらしいこの茅葺の建物は、納屋に使われていた。通年にわたって茅の雪囲いで、しかと冬に身構えた軒下には、木製のハシゴが茅を押えるように差し込まれている。全てが無駄なく、確かな手の技で収められていて、破綻がない。

ムシロに干される山栗。この恵みをもたらした背後の山から、雪が降りてくるのも間近である。

厳しい季節を前に、おだやかなたはずまい。時が流れる。



点描 奥会津の花

エゾリンドウ (リンドウ科)

秋の山地を代表する花です。花は日の光を受けると開き、雨やくもりの日は閉じます。栽培品のリンドウの原種とされ、根は苦味健胃剤として薬草に利用されます。エゾという名前がついていますが、北海道だけでなく本州にも自生していて、奥会津の秋を彩る植物のひとつです。

奥会津 つれづれ

眩しいくらいの緑から、日に日に彩りを変えていた紅葉も終わりを迎えたつある。日暮れが早くなり、次に来る白い季節へとバトンを渡そうとしている。

今年3月に刊行した奥会津7町村のこだわり「温泉」ガイドブック「ゆき湯」に続き、来年春には奥会津の「食」がテーマのガイドブックが刊行予定。奥会津7町村の食材・飲食店・土産物の情報を網羅し、奥会津を訪れた際に訪れる際に役立つ冊子となるように現在製作中である。

10月初旬に特集ページの取材が行われた。その際に、あらかじめ奥会津の贅沢さを痛感した。当たり前前に飲んでいる水。ウチの畑で採れた野菜。春の山菜。秋のキノコ。滋味溢れる食材の数々。四季を目で肌でそして体内で、五感全てで感じられる。

「なんて贅沢！」。

この時期、次の季節に備えての収穫と保存食の仕込みをする。大根ニョウ(ニョウ)を作ったり、白菜などは一つ一つ丁寧に新聞紙などで包んで保管漬け物を作るための準備など忙しいことしきりである。

といっても、私は両親にほぼまかせつきりである。これから年老いていく両親に先人の知恵を知識としてではなく、実践で教わらなければいけないと思う今日この頃である。

(み)

写真と文・坪田和人

イヌワシが生息する山として知られていた博士山の山麓のブナ林は大伐採されて、かつての面影はなくなつた。博士山には二つの登山道があるが、まとまったブナ林が現れるのは両登山道が合流する地点からだ。しかし登山道脇の小灌木に遮られてブナ林がよく見えない。博士山のブナ林は斜面に残雪が残っている時期が最適だ。社峰というピークを越えた辺りから斜面は緩んでくるので、藪を越えて残雪の斜面に出てみると、景観は一変して残雪の斜面一



博士山

面に白い樹肌のブナが林立し、ブナの若葉が瑞々しく輝いている。実に見事なブナ林で、これが本来の博士山のブナ林なのだ。博士山のブナ林を最も簡単に見られるのは博士峠だろう。博士峠は標高1000mを越える地点にあり、5月の連休明けの頃なら廻りの斜面は未だ残雪が残っている、ブナは新緑している。藪が残雪に押さえつけられているので、ブナ林内を自由に歩き回れる。ブナ林内には結構ブナ大木があり、ブナ林内を歩く人は少ないので、静かな雰囲気です。

博士峠から小博士山へも登山道が通じているが、ブナ林は伐採されていてブナ大木が少ない。

アクセス
大成沢の登山口までは只見線
会津柳津駅から車で約1時間
博士峠は会津若松駅より車で約50分
コースタイム
大成沢登山口(約1時間半)
—登山道合流地点(約50分)—博士山
博士峠付近は国道から適当な場所から入り、適当な時間散策する

◆著者プロフィール
1942年生まれ。ブナをライフワークテーマとする。日本全国約500ヶ所のブナ林を訪ね歩いてきて、「ブナの山旅」(山と溪谷社)を出版。会社生活を卒業後は、ブナライフに徹するために生活拠点を会津若松市に移し、奥会津や東北各地のブナ林巡りを続けている。

写真と文・森澤堅次

標高1234mの志津倉山は三島町と昭和村の境界に位置し、高山の多い奥会津では中級の難易度の山である。毎年6月の初めに山開きが行われて老若男女が新緑と残雪の秘峰を楽しんでいる。

標高の割に秘峰の名がふさわしいのは石英安山岩の断崖が切立ち、山麓の村、間方と入間方に数々の伝説があるからである。断崖の一つは雨乞岩で早稲に「雨たんぬい、たんしやくやい、水たんぬれ竜宮やい」と大声で雨を呼ばると村に降り着く頃に必ず雨が降ったと言う。

また弘法大師(774~835)の時代、千年も生きた化猫が悪事をして、人々を苦しめていた。大師は瀧油の木でカシヤ猫を退治し、その魔力で民の病気や災難を救い、この山の主となれと命じた。恐ろしい声がきこえる大岩は猫啼岩である。山中で「空



12月 初冬の雨乞岩 入間方から積雪があり、三脚を立てた場所まで、歩いて2時間を要した。(藤間道徳 撮影)

木がえし」を聞いた古老も居て、木を伐る怪音はあつても夜が明けて行ってみると何事も無い。これは志津倉山に住む天狗の仕業とされた。

国道252号を外れて、宮下から県道を走ると16kmで大沢登山口に到着する。県道「小林・会津宮下(停線)」は大谷川を逆上り、間方と入間方との間で美女峠に向って1km程で工事が中断されている。駐車場には赤御影石に「このすばらしい山、この楽園、ジェフに捧ぐ」と刻まれた碑が建てられていた。1996年11月3日に細ヒドコースで遭難死した英語講師ジェフリー・ゲッツ青年の碑である。また少し奥に志津倉山の会の堀金政喜さんを偲ぶ「志津倉の鐘」が寄贈されている。

ここから奇岩、断崖を見て、シャクナゲ坂を登り山頂まで2時間10分程である。下山は細ヒドコースをとれば1時間半でぶどう倉を通って大沢の登路に出る。駐車場まで5分たらずで4時間程の登山を終える。

◆著者プロフィール
1940年秋田市生まれ。秋田大学鉱山学部機械工学科卒業。玉川機械金属(現三菱伸銅機)若松製作所に就職。山岳部を創立。主将部長を経て2000年退職。日本山岳会、南会津山の会に所属し、尾瀬国立公園自然指導員。著書「山を訪ねて」(喧嘩会津藩)共著「会津百名山ガイド」(神々が宿る森 会津)「新版会津の峠」等

奥会津だより 無料送付の ご案内

ご希望の方は事務局まで
発送先(ご住所・お名前)
をご連絡ください。

問い合わせ先:
只見川電源流域振興協議会
事務局

TEL.0241-82-5220
FAX.0241-82-2117

E-mail.webmaster@okuaizu.net

方言クイズ

クイズに答えて奥会津の
地場産品を買おう!

問題: 次の方言の意味は何でしょう?

「よおわり」

ヒント: 冬の●●●●●●にもづくり

正解者の中から抽選で2名様に南会津町伊南の「ブルーベリージャムセット」をプレゼントいたします。

●応募方法: 官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先: 〒969-7511
福島県大沼郡三島町
大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切: 2008年11月30日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

※クイズの答えは次号50号で発表いたします。

◎48号「稲こぎ」の答え: 脱穀 たくさんのご応募ありがとうございました!



お作り紹介

●子供の頃に過ごした原風景を懐かしみ、紹介されたブナの山旅や奥会津の山々を参考に山々に出かけたり、イベント情報に載っている行事に参加したりと、まさに興味ある内容が凝縮された「奥会津だより」です。

(新潟市 S. Rさん)

●48号初打ち棒、もうこの姿は50年も当地にては見ることはできません。本当に懐かしく思い出しました。農家ですから使ったことを思い出し、年月過ぎたことつくづく感じました。

(南会津町 N. Tさん)

●家族全員で稲束を背負い集めて、夜、脱穀をした光景を思い出します。末娘の私は、早く終わって食事ができることを心待ちにしています。

(大玉村 H. Tさん)

11月12月1月 奥会津イベント情報

只見川電源流域振興協議会事業

11月末日

第12回歳時記の郷・奥会津フォトコンテスト作品募集

11月

◆期間 平成20年8月～11月末日
◆場所 奥会津地域内(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷・伊南・館岩)・檜枝岐村)で撮影された作品。

◆部門 自然風景・郷土文化部門
奥会津思い出スナップ部門
◆問合せ ㈱フジカラープロフォトセンター
群馬事務所 ☎027-327-5882



自然風景・郷土文化部門
グランプリ
「風の造形」
鷹鷲建次

イベント情報

檜枝岐村 「深山人(みやまびと)の知恵と工夫を
五感で感じる『おっかの昔こつお』」

◆日時 平成20年11月15日(土)
午後3時～(募集人数15名)
※宿泊者限定
◆場所 東雲館3階(檜枝岐村公民館)
◆問合せ 尾瀬檜枝岐温泉観光案内所
☎0241-75-2432

三島町 おおたに新そばまつり

◆日時 平成20年11月16日(日)
午前の部 10:00～12:00
午後の部 12:30～2:30
◆場所 第1会場 大谷活性化センター
第2会場 園福寺
◆問合せ おおたに新そばまつり実行委員会
会長 二瓶☎0241-52-3416
事務局 五十嵐☎090-6781-7706

南会津町 会津高原たかつえスキー場
館岩 オープン

◆日時 平成20年12月18日(木)
◆場所 会津高原たかつえスキー場
◆問合せ ☎0241-78-2220



只見町 只見スキー場オープン

◆日時 平成20年12月19日(金)～
平成21年3月31日(火)
◆場所 只見スキー場
◆問合せ ☎0241-82-2304

柳津町 柳津温泉スキー場オープン

◆日時 平成20年12月23日(火・祝)
8:30～16:30
ナイター16:30～21:00
10時～安全祈願祭
オープン当日はリフト無料
◆場所 柳津温泉スキー場
◆問合せ (財)やないづ振興公社
☎0241-42-2302



金山町 フェアリーランド
かねやまスキー場オープン

◆日時 平成20年12月23日(火)
◆場所 フェアリーランドかねやまスキー場
◆問合せ ☎0241-54-2022
(または☎0241-55-3334)



南会津町 会津高原高畑スキー場
伊南 オープン

◆日時 平成20年12月27日(土)
◆場所 会津高原高畑スキー場
◆問合せ ☎0241-76-2231
http://takahata-ski.ina-area.co.jp

檜枝岐村 尾瀬檜枝岐温泉スキー場
オープン

◆日時 平成20年12月下旬
◆場所 尾瀬檜枝岐温泉スキー場
◆問合せ ☎0241-75-2351

南会津町 会津高原南郷スキー場
オープン

◆日時 平成20年12月27日(土)
8:30～16:30
◆場所 会津高原南郷スキー場
◆問合せ ☎0241-73-2111



柳津町 七日堂裸まいり

◆日時 平成21年1月7日(水)
19:30頃～21:30頃まで
◆場所 福満虚空蔵尊圓蔵寺菊光堂
◆問合せ 柳津観光協会
☎0241-42-2346



発行: 只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・南会津町(南郷・伊南・館岩地域)・檜枝岐村・只見町)
発行日: 11月10日発行(年5回発行) 事務局: 〒968-0421 福島県南会津郡只見町役場 総務企画課企画班内 TEL.0241-82-5220
http://www.okuaizu.net webmaster@okuaizu.net 編集: 奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。